

防犯対策の強化へ

党愛知県議団

県警の緊急通報体制を視察



110番通報の説明を受ける党県議団

治安・防犯対策の強化を推進する公明党愛知県議団(渡会克明団長)は先ごろ、名古屋

市の県警察本部を訪ね、110番通報を受理しパトカーの出動などを総括する通信司令室や、110番の通報が体験できるコーナーを視察し、緊急通報の現状について聞いた。

それによると、昨年の110番通報の総受理件数は62万4851件。そのうち2〜3割が、地理案内や運転免許の更新の質問など緊急性のない電話で、事

件・事故への素早い対応を遅らせる原因になっているという。

職員は、こうした質問などに応じる警察相談の専用電話「#9110」があることを紹介する一方で「(県民への)浸透は少ない」と課題を挙げた。

視察後、渡会団長らは「県民が県警のシステムを活用しやすいよう、普及を後押ししたい」と語った。